



学校だより

ゆめは大きく

尾張旭市西の野町5丁目1番地 <https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/>

尾 張 旭 市 立
旭 小 学 校
第 4 号
令 和 8 年
6 月 2 5 日

TEL 0561-53-2035

「問い」を立てる力が、未来を切り拓く

我が家で、就職活動中の息子との会話の中に小学校での教育のヒントを感じました。

今の就職活動は、書類・試験での選考、オンライン面接を経て、やっと対面による一次面接が受けられるようです。そして、いくつかの面談をクリアして、内々定・内定になっていくそうです。

私の学生時代との違いを感じつつ、数多くの面接を体験している息子から面接で問われる内容を聞きました。その中で見えてきたことがあります。それは、企業などの実社会においても、自ら課題を設定し、失敗を恐れずに挑戦し続ける力があるかどうかを判断しているということです。

この点は今の小学校教育にも重なる部分であると感じます。これまでのように単に知識を習得し、「正解を覚える」だけでは通用しない時代になりました。生成 AI をはじめとする技術の進歩により、情報の検索や定型的な作業は AI が担うようになっていきます。

これからの時代に求められるのは、与えられた問いに答える力ではなく、「自ら問いを立て、試行錯誤しながら納得解や最適解を見いだしていく力」です。これは、一流の仕事人ほど、単なる「答え」ではなく「より良い問い」を求めると言われていることにもつながると思います。

本校では今年度、「自ら問いを立て、学びを進める児童の育成」を掲げて教育活動を行っています。授業では、子どもたちが「なぜ?」「どうして?」と自然に問いを抱くような導入を工夫し、仲間との対話を通して自分なりの最適解を見つけるプロセスを大切にしています。

この試行錯誤の過程で大切な考え方が、「失敗ではなく、未成功」という捉え方です。最初から正解にたどり着くことよりも、未成功を繰り返しながら「次はどうすればいいか」と問い直し、粘り強く取り組むことこそが、本当の意味での「知識」の獲得、そして「知恵」を育みます。

ぜひ、ご家庭でも子どもたちが不思議に思うこと、知りたいと思うことを大切にしてください。そして、お子さんが問いを立てたときには、「どうしてそう思うの?」「一緒に考えてみようか」と、伴走していただければ幸いです。

もうすぐで夏休みが見えてきます。子どもたちの好奇心がどんな「なぜ?」「どうして?」と出会うのか楽しみます。



教科書から「なぜ?」を見つけ、話し合う姿

校 長 岩 下 徹